

大正池 100 周年記念植樹事業

1 事業の目的

田原市は、当地出身の近藤寿市郎氏の提案による豊川用水通水をきっかけに日本トップクラスの農業生産地となっております。

大正池は、大正時代に当時の水不足対策のため、高松区を挙げて取り組み完成から 100 年が過ぎ、現在も豊川用水貯水池として重要な農業用施設となっております。今年 3 月には漏水対策事業のため池改修が完了しました。リニューアルした大正池の完成に合わせ、高松区のシンボル、憩いの場とするために「大正池 100 周年記念植樹」として、桜の木の植樹を行うものです。

2 実施方法

高松小学生(在校生家族単位)による記念植樹を行い、アダプトプログラムを活用して、各植樹に対して名札を付けて自分たちの木として見守り管理をお願いし、高松区として管理していくものです。

3 その他

実施に当たっては、宝くじ桜寄贈事業を申請し、70 本の桜を大正池周辺に地元関係事業者に準備工事をお願いし、実施するものです。